

様式第2号

平成26年3月18日

新見市議会議長 殿

報告者名
 総務産建常任委員会
 委員長 難波 孝一

市議会一般会議実施報告書

開催日時	平成26年2月21日（金）19時00分～21時00分
開催場所	新見市中心市街地活性化拠点施設（太池邸）
団体名 代表者名	新見おかみさん会 橋本真知子
参加者数	8 人
出席議員	難波 孝一 石田 實 宮本 英基 岩田 秀之 藤澤 正則 津島 大孝 林 光和 羽場 純三 榎 日出男 仲田 康豊 池田 一二三
意見交換の 内 容	※別紙のとおり
議員間自由 討議の内容	
備 考	

意見交換の内容

【テーマ】新見中心街の将来のまちづくりの方向性について

おかみさん会の意見	総務産建常任委員の意見
<p>■町並みを活かした観光振興について</p> <p>☆中心地全域の活性化は無理としても松原通りを活かす術はないのでしょうか。</p> <p>☆行政に中心市街地活性化計画があるのでは。高梁市（松山）の街通りがやっている古商家格子・白壁の改装助成はできないか。</p> <p>☆空き家の利用で中心市街地を活性化する具体策が欲しい。</p> <p>☆商店街の利用促進についてはどうでしょうか。</p>	<p>★商店街を商業ゾーン・観光ゾーンとして考えては。</p> <p>★マスタープランにあります。人が3分の1しか住んでいない。建物を残すことより、人を残すことが大切だと思う。ソフトとハードを調和すべきです。</p> <p>★借りたいけど貸せられない物件がある。貸せるようにするには、おかみさん会の力が必要。</p> <p>★この度の雛祭りも、美術館と中心市街地との導線ができればもっと良かったのでは。</p>
<p>■倒壊危険家屋の対応について</p> <p>☆松原通りの横内邸周辺の対応について個々の対応では限界があり何とかならないか。</p> <p>☆倒壊危険家屋の撤去に関する条例はできないか。</p>	<p>★家屋は民間なので、対応は難しいが、目的があれば買えます。</p> <p>★市民提案をどうするかを協議します。 →委員会では執行部に対応を求める方針 →引き続き所有者に対して文書指導していく方針（執行部）</p>
<p>■駐車場不足等の問題について</p> <p>☆中心地にバス停ができない、大型バス駐車場がない。</p> <p>☆旧市民会館を解体土地利用をできないか。</p>	<p>★検討していきます。</p> <p>★早急に対応することは難しいのでは。</p>

<p>☆商店街舗装のインターロッキングの不具合について。</p>	<p>★修理する陳情をしてみてもいいか。 →委員会で執行部に対応を求める方針 →たちまち通行に支障はないが、注意して現状把握に努めてまいりたい（執行部）</p>
<p>☆今回の課題を常任委員会でどの様に対応するのか。</p>	<p>★常任委員会で協議します。 ★提案として、市街地を活性化するにはある程度人口が必要だ。人口流出をくい止める政策の一つとして、農業を含めた一次産業の衰退を六次産業化で何とかすることでは。</p>